

コペン走行会 2015

走行会ではどんな事が行われるの？ 何を覚えてほしいの？ どんな準備が必要？

…など、初心者にもわかりやすいマニュアルです。

みんなで楽しめる走行会にしましょう!!

そのためには、全員に守って頂く注意事項がいくつかあります。

サーキットを走る方も走らない方も、全員必ず目を通してください。

★参加者は誓約書に記入と捺印が必要です

★ドライバーズミーティングに必ず全員参加

参加者全員の安全のための誓約書となります。走行しない人でも必ず記入と捺印を行い、当日お持ち下さい。ドライバーズミーティングにも必ず参加をしないと、走行は行えません。

★サーキット内では車両保険等が使えません

ぶつけてしまっても、ぶつけられてしまっても、**全額自費**です。
サーキット内の設備(ガードレール等)にぶつけてしまった場合も
自費で修理が原則です。※誓約書に明記あり。

- ・自分の身は自分で守る！ ・車間距離を取り、無理な走行はしない。
- ・後ろに追いつかれたらハザードを焚いて端に寄り、
追い越してもらってください。
- ・自分が追い越す場合は、**直線のみとなります。**
コーナーなどで絶対に追い越さないでください。

※観戦者も同じです。人身事故が起きても自己責任です。

ピット内へ不要な出入りはしないでください。

★オープン走行について

4点式シートベルトの着用と4点式以上のロールバーの装着が必要です。

※4点式シートベルト着用でも、ピッチングバーを始めとする
ファッションバーでのオープン走行は行えません。

★必ず係員の指示に従ってください

- ・走行上、係員が危険と判断される改造車は走行不可。
- ・オイル漏れがあった場合は、直ちに走行を終了して頂きます。
- ・タイヤの残り溝が無い等、故意に滑りやすい状態での走行は禁止します。
- ・ピット内では**徐行**してください。

・**ドライバーズミーティングは必ず参加してください。**

<通称ドラミ…マニュアル内容の確認、当日発生する共有事項確認等行います。>

※**ドライバーズミーティングに参加しないと走行はできません。**

★車両準備について

前日までにタイヤ、オイル、ブレーキパッド&オイル、冷却水のチェックを必ず
行って下さい。(当日不備があり走行が禁止されても、払い戻しはありません。)
走行される方は、会場到着前にガソリン給油をオススメします。

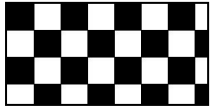
★走行服装等の規定

- ・ヘルメット(ジェット or フルフェイス/耳や後頭部のでないもの)
- ・グローブ(軍手など滑りやすい物は不可)
- ・シューズ(かかとの低い運転に適した物/素足、サンダルは不可)
- ・長袖、長ズボンの着用

★その他の注意事項

- ・ドリフト走行は禁止です。 ・同乗者は18歳以上、一人までとします。
- ・同乗者も長袖、長ズボン、ヘルメットの着用が必須です。

フラッグについて



・チェッカー

黒と白の旗…走行の終了を示す旗



・白色

低速車あり。(ダメージを受けてスローダウンしている車両が走行している等)



・赤色

全車両速やかに徐行し指示された場所(ピット等)へ停止。



・黄色

前方に危険あり。減速とともに追い越し禁止。



・緑色

規制解除を示します。通常走行可能。



・黒色

ゼッケン番号又は指差しと同時に表示されます。危険行為や規則違反を行ったドライバーに対し、直ちにピットストップする様、命じる旗です。(腕まくりや窓が開いている等。)



・青色

後方より高速車両接近。後方車両に、速やかに進路を譲る。



・オイル旗

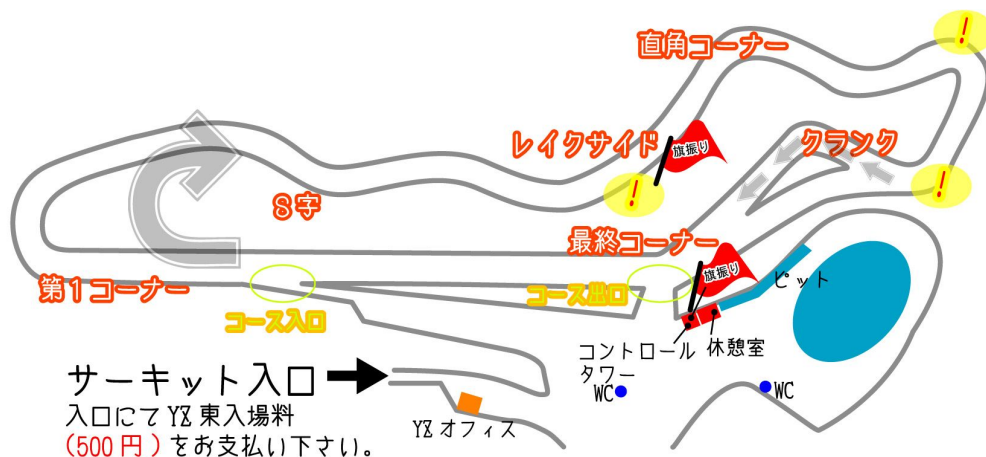
黄色と赤のストライプ…コース上が滑りやすくなっている。(オイル漏れ等)走行注意。



・オレンジボール

黒にオレンジの丸…車両のトラブル有り。当該車両は安全を確保しながら速やかにピットストップ(ボンネットが開いている、バンパーが落ちそう等)

* YZサーキット東 *



- ◆ グリップ走行は時計周り。
- ◆ コース入口と出口はちがうので、走行前に要確認。
- ◆ ピットは空いている所をご利用下さい。
- ◆ シグナルなどはないため、**コントロールタワーの旗、**
(最終コーナーから第1コーナー間での注意喚起)
レイクサイドの旗を見落とさないように走行して下さい。
(レイクサイドからクランク間での注意喚起)
- ◆ 車速がのるコースです。ブレーキへの負担も考えて

車も人も休憩時間を取って走行を楽しんでください♪

< YZサーキット東・・・ >

常に先のコーナーの侵入を見越したライン取りを要求されます。

まず大事な**のは第一コーナーを突っ込みすぎない事。**

レイクサイドにあるブラインドコーナー（見通しの悪いコーナー）は注意！

直角コーナーからクランク手前までのコーナーは、リズムが大事。

また、**最終コーナーの立ち上がり**を重視した**進入ライン**を

組み立てて、ストレートの車速を稼いでください。

★ 追い越し

直線のみとなります。

譲りたいと思った時は、ピットインを利用する事も大切です。

★ コースイン

サーキットでは、**既に周回中の車両が優先です！**

コースインする車両は、最終コーナーから加速してくる車両の走路妨害にならない様に、

- ① ストレートに対して平行に車両を止め、
- ② 右のサイドミラー(遠方)と目視による(直近)確認。
(ラインを譲った左側通行車両の見落としに注意)
- ③ できるだけ間隔のあいている状態で
- ④ **第1コーナーを越えるまでは、コースのアウト側に沿ったまま、**
速やかに加速。
- ⑤ 周回中の車両の妨げにならないければ(2コーナー以降)、レコードラインに
進入！ 追いつかれそうならば、そのままコース左端を通行して周回車両の
通過後に進入

★走行中

レコードライン上はある程度の速度で走っていることが想定です。
合図の有無にかかわらず、減速や停車は追突につながる危険な行為です。
予めハザードなどで合図を出し、ラインを外してから減速するか、
速やかにピットインしてください。

ラインを譲る場合は、譲られた車両がレコードラインを通れるように
努めてください。(これはマナーです)

ストレートでラインを譲る際は、
ストレートに入ってから左→右に進路変更すると走行ラインが交差し、
かえって危険です。(右側から追い越しをかけられているかも知れません)

- ① クランク進入までに右ウインカーまたはハザードを点滅(意思表示)
- ② 速度を落として通過
- ③ そのまま最終コーナーのコース出口に入る

という手順をお願いします。

抜かれる認識のない車両を追い越す場合はお互いに危険が伴います。

- 走行中に追いついてしまった場合、しばらく待ってもラインを譲ってもらえない場合は、ピットインを利用して譲ってくれなかった車両の少し前にコースインし直しましょう。無理して追い越すよりも安全です。
- 走るのが楽しくて「スイッチが入ってしまった」のは分かりますが、**長時間連続走行**を続けると車両(特にエンジンとブレーキ)に**大きな負担**がかかります。
タイヤの発熱や空気圧の上昇でグリップ力が低下したり、集中力の低下によるスピンなども起こりやすくなりますので、小まめに休憩をとり、車両のチェックをしましょう。

※当日変更がある場合は、当日のスタッフの指示に従ってください。

2015.10.4 : Planning By LIAF / Presents By YURU STYLE